

みんな・あそぶ!展 1996ー2026

●30周年アーティストプログラム

服部正志さんの
「ありがとう○さんじゅうのきょじん○
みらいにむかってたちあがります
(30周年おめでとうございます!)」

7/25(土)、26(日)

前回の20周年から10年。参加者全員で力を合わせ、「30」をテーマにした巨大な空間展示をつくります。全身を使った表現で、これまでの「ありがとう」と未来へのメッセージを届けます。

内藤光穂さんの「あみだまめぐり」

8/8(土)、9(日)

みんなの編み物でできた「あみだま」を探して観察し、新しい編み物を加えながら館内を巡って楽しめます。

さかいとのむらの「ドンタカ・ブンタン」

8/22(土)、23(日)

みんなでドンタカ 行列をつくって館内を歩きます!

●みんなであそぶプログラム

会期中毎日 10:00-16:00 (11:30-12:30はお休み)

「おみくじら30」

今日のあそびは運まかせ!? 30年間分のあそびのプログラムから選んだおすすめのあそびを「あそびのカード」にしました。くじで当たったカードであそびます。
※会期中入れ替わるプログラムがあります。

「つながりジャンケン」「ドット・モアレ」

「きのこのき」「ひみつ探偵」「おりせん」「キラモ」など

●あつまるあそぶプログラム

7/18(土)、19(日)、20(月・祝)、

8/11(火・祝)、15(土)、16(日)、29(土)、30(日)

14:00-15:00、30分前受付

「ワ・ク・エスト」「つながるアニメ実験室・フィルム」など

30年間のあつまるあそぶプログラムのなかから
おすすめをセレクトしました!

●たべるあそぶプログラム

日曜日 11:00-12:00、30分前受付、抽選6組

「出汁」30年の中から厳選した、つくること、たべる
ことを楽しむプログラムです。

○詳しくは、館内の当日案内をご覧ください。プログラムは予告なく変更することがあります。

●愛知県児童総合センター



〒480-1342
愛知県長久手市茨ケ廻間乙1533-1
TEL / 0561-63-1110
E-mail / info@acc-aichi.org
https://www.acc-aichi.org

開館時間 / 9:00-17:00
入場料 / 中学生以下無料、その他300円

休館日 / 7月=7、14日
8月=なし
9月=1、8、15、24、29日
10月=6、13、20、27日

公共交通 地下鉄東山線「藤が丘」、愛知環状鉄道「八草」から
機関で… リニモ「愛・地球博記念公園」駅下車
車で… 東名高速・日進JCT経由名古屋瀬戸道路長久手ICから
足助方面すぐ(愛・地球博記念公園 北1駐車場利用)

子どもとおとな、ドキドキ発見!

みんな・あそぶ!展

夏季特別企画 |

みんな・あそぶ!展
1996-2026

特集 |
春季特別企画
ちずであそぶ

特集 |
祝 特別企画の30年

子育てのおはなし 第55話
募集とお知らせ

Aichi Children's Center

レター

News Letter vol.

2026 夏 55

みんな・あそぶ!展 1996ー2026

1996年7月に開館した愛知県児童総合センター(以下ACC)は、子どもたちが
自分の五感を力いっぱい働かせ、感じるきっかけとなるあそびの開発に力を
注ぎ、あそびの可能性を広げる試みに取り組んできました。

「テーマを持つ」「不自由さが楽しい」「ムダからはじまる」「子どもも大人も対等」、
私たちがあそびを考えるにあたり持ち続けている“こだわり”はすべて、一連
のあそびに参加することで、今まで「あたりまえ」と思っていた物事に対する
視点が変わるきっかけをつくるためのものです。そうした考えから「自然」
「はかる」「ウソ・ホント」「音」「うれしい気持ち」など、ごく身近なテーマから
広がるイメージを元に開発したあそびのプログラムや、テーマにあわせた環境
設定を、“特別”な“企画”として、実施・展開してきました。

ACCのあそびは30年間で、さまざまに変化しながら発見や驚きが広がり、
新しく生まれつつけています。あそびの企画を振り返り紹介するあそびの
展覧会「みんな・あそぶ!展」では、これまで実施してきた18の「テーマ」を
紹介するとともに、スタッフがオススメするあそびのプログラムが大集合し
ます! 懐かしいもの、初めて体験するもの、時を経てまた違った楽しみ方に
気づくものなど、たくさんのあそびがあなたを待っています。

2026.7.18(土)ー8.31(月)

愛知県児童総合センター(愛・地球博記念公園内)

時間=10:00-16:00(開館時間は9:00-17:00) 会期中の休みなし

入場料=中学生以下無料、その他300円

主催 | 愛知県児童総合センター(公益財団法人愛知公園協会)



「ちずであそぶ」では、従来の地図だけにこだわらない、様々な地図のあそびをセンター全体を使ってみんなで遊びました。身の回りを見渡してみると、まだ気づいていなかったたくさんの地図が隠れています。どこかへ行くための地図だけでなく、空想の地図、未来の地図、気持ちや感情を表す地図など、いろんな地図があることに気づくきっかけとなりました。



地図のマークと看板を頼りに館内にあそびを探しに行きます。あそびによって進む先が変わって、館内をいっばい探検しました。「次はどこだろう」と探し回るのが楽しくて、夢中になって遊びました。

● みんなであそぶプログラム



身近にあるさまざまなモノを並べたり重ねたりしながら、みんなでどんな大きな「まち」をつくれます。最後は、みんなでつくった「モノのまち」の様子をタイムラプス動画で見て楽しみました。



白い紙を折ったりテープでとめたりして建物をつくり、大きな地図の上に飾ります。みんなの建物で地図がいっぱいになり、プロジェクターでさまざまな色を投影すると、不思議な景色が浮かび上がりました。

● たべるあそぶプログラム



小麦粉の生地で地図や道をつくり、野菜を建物などに見立てて焼いて食べます。自分たちだけの地図の中に、普段見る野菜たちが橋や森などに変化していく過程を楽しみました。



令和8年春季特別企画として実施しました。



ビクトル・ダミコ in あいち “アート・あそび・キャラバン” (1996, 2014)
ゆかいなカルダーあそび展 (1997)
音のかけら展 (1997)
田沼武能の写真による ～世界の子どもと家族写真展 (1997)
まる・ち・ぶる・あーつ なるほど！体験市場 (1998)
コマガタワールド ～創造的な絵本の世界 (1998)
どうなってんのカラダ？だからカラダ (1998)
ふしぎ・びっくり！映像たんけん (1998, 2001)
グレートわくわくあそび大集合 (1999)
ネイチャーワンダーランド (1999, 2000, 2001, 2003, 2005, 2009, 2013, 2019, 2025)
つくる・あそぶ展 (1999)
たべる・あそぶ展 (2000)
あなた・わたし・みんな (2000, 2007, 2010, 2022)
ワクのない表現展 (2001)
みんな・あそぶ！展 (2002, 2006, 2012, 2021)
親子でたんけん 伝える・伝わる？！ (2003, 2007, 2017, 2024)
親子でたんけん！夏の森 (2003, 2004, 2005)
おと・うごき・木のおもちゃ展 (2004)
つなげる・つながる (2004, 2009, 2014, 2021)
親子であそぶ！土・泥・ねんど (2005, 2008, 2011, 2018, 2024)
親子の肖像 ブルース・オズボーン写真展 (2006)
親子でたんけん 仕事ってなに？！ (2006)
家族●あそぶ！ (2007, 2017)
あそび発見！ウソ？ホント？ (2008, 2012, 2019, 2025)
なんだかうれしい！ (2008, 2011, 2015, 2020)
○△□ーカタチであそぶー (2009, 2015, 2022)
はかる？！これくらいってどれくらい (2010, 2015, 2022)
dot・点ーここからはじまるー (2010, 2016, 2023)
あつまれ！「線」のあそび (2011, 2017, 2023)
もじ・モジ・ファクトリー (2012, 2018, 2025)
はんたいのはんたいのはんたい (2013, 2018, 2024)
ちずであそぶ (2013, 2019, 2026)
なんのいろ？どんないろ？ (2014)
みんな・ありがとう！展 ーこれからもよろしくね！ー (2016)
みみをすます (2016, 2023)
ひかり・いろ・カタチ (2021)
みんな・あそぶ mini (2020)

子育てのおはなし

臨床心理士
後藤 かをり

第 55 話

子育ての不安のもと

先日ある子育て支援センターで、まだ生まれて間もない子どものお母さんから電話が何度かかかってきたという話を聞きました。「赤ちゃんがおっぱいを飲まない」「飲んでいるのかどうかわからなくて不安」とのことでした。私は、正直「わー、懐かしい」と思いました。遠い昔私自身も同じような状況で、この子を私はちゃんと育てられるだろうか、守っていただけるだろうかとても不安になっていました。

子どもが大きくなるにつれて、親の悩みは変わっていきます。お友達と仲良くできない、ちっとも寝ない、親の言うことを聞かない……。でも、親の最も根源的な不安はひょっとしたら同じなの

ではないかと思います。「この子はちゃんとこの世の中で生き延びていけるだろうか？」「この子は幸せな人生を歩めるだろうか？」

私たちの、子どもの行動に対する日々のたくさんの不満や怒りは、この自分自身の不安から来ているのではないか、そうしてみると案外、日々の悩みの意味が変わったり、子どもの目の前の育ちが、大きな喜びと感じられたりするかもしれません。ぜひ、信頼できる人と話し合ってみてください。

(はじめのお母さんからの電話は、その後なくなったそうです。新しい心配ができたかな?)

募集とお知らせ

セルフタイマーで撮る「家族のうれしい顔」写真

毎年「児童福祉週間」と「親子の日」に合わせて「家族のうれしい顔」写真を募集しています。館内に設置された特設撮影ブースで、カメラのセルフタイマーを使って撮影します。撮影した「家族のうれしい顔」写真を集めて、後日「家族のうれしい顔」写真展を開催します。是非ご参加ください。

開催日：7/25 (土)、26 (日)
対象：家族(親子)でご参加ください。

放送大学との共同事業 特別プログラム

「恐竜から進化した鳥って、どんな姿だろう？」

新聞紙を使って、自分だけの鳥をつくり、Webミュージアムに展示します。みんなの鳥を見比べながら、カタチやアイデアの違いを楽しみ、つくるおもしろさや見る楽しさが広がっていくプログラムです。

開催日時：8/1 (土) 14:00-15:30
募集人数：15名
対象：5歳から大人まで(未就学の子どもは大人と一緒に)
申込：詳しくはウェブサイトをご覧ください。



7/28 (火) 長久手市 西児童館
8/19 (水) 大山市 西児童センター
8/28 (金) 飛島村 児童館
9/12 (土) みよし市 蜂ヶ池児童館
9/19 (土) 高浜市 高取南児童クラブ
9/28 (月) 稲沢市 中央子育て支援センター

※詳細については、実施機関にお問い合わせください。

※プログラムは予告なく変更・中止する場合があります。詳しくはHPをご覧ください。